

京都市動物園からよこはま動物園に



ヤブイヌが来園します！

令和3年3月8日(月)京都市動物園からヤブイヌのパパマル(オス・5歳)が繁殖契約(※1)に基づき、来園します。

ヤブイヌは、南米に生息する原始的なイヌの仲間で、国内での飼育頭数は少ないです。

本個体の来園により、ズーラシアで飼育しているメスとの繁殖が期待されます。

今後は、パパマルの状態を慎重に観察しながら、展示と繁殖に取り組んでいきます。



来園するパパマル(オス)
※京都市動物園提供

※1繁殖契約(ブリーディングローン)とは

繁殖を目的とした動物の貸借契約のことで、動物園ではこの契約に基づき動物を移動させることによって新たなペアを作り、繁殖に取り組んでいます。

当日の取材について

※動物の搬入当日の取材はできませんが、掲載用の写真等を提供します。



指定管理者:(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

■今回来園する個体について

愛称：パパマル	平成 28 年 2 月 11 日 京都市動物園生まれ
---------	----------------------------

■ヤブイヌについて

和名	ヤブイヌ
英名	Bush Dog
学名	<i>Speothos venaticus</i>
分類	食肉目 イヌ科
分布	パナマからアルゼンチン北部
生態	南アメリカ北部の森林や草原に広く分布し、特に水辺を好みます。足の指の間には水掻きのようなものがあり、泳ぎが巧みです。10 頭程の群れで生活し、アグーチなどの小型哺乳類や鳥類、魚介類、カピバラなどの大型齧歯類を狩ることもあります。尿によるマーキングは雄が片足を挙げるのに対して、雌は逆立ちをして行います。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	準絶滅危惧 (NT)：現時点では絶滅の危険度は小さいが、環境の変化によっては「絶滅危惧」になる可能性のあるもの
国内飼育園館	6 園館 15 頭 (オス 9 頭、メス 6 頭) ※令和 3 年 2 月 17 日現在
当園飼育頭数	5 頭 (オス 3 頭、メス 2 頭) ※今回来園する個体を含まず

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料 (要学生証等)
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート (18 歳以上) 2,000 円
- ◆開園時間：9:30~16:30 (入園は 16:00 まで)
- ◆休園日：毎週火曜日 (祝・休日の場合は開園し、翌日休園) ※臨時開園あり
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

- ・土日祝日の入園には、整理券の事前予約が必要となります。
- ・1 日の入園者数を 8 千人程度に制限します。
- ・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。